



12月12日

大阪河崎リハビリテーション大学大学院と、認知症予防や健康長寿のための教育、本市の特産物の健康機能性に関する研究等について、事業協定を締結しました。大学院ならではの専門的、複合的な見地を加えた連携を通じ、今後も健康づくりの推進を図っていきます。



12月15日

大規模災害などを想定した「災害時における被災者相談業務の実施に関する協定」を大阪司法書士会と締結しました。この締結は市の要請に基づき、司法書士が被災者の相談業務を行ない、災害時における市民生活の不安解消を図るものです。

12月17日

市立ドローン・クリケットフィールドで、「～Let's experience Cricket～ソーシャルクリケット大会 in 貝塚」を、日本クリケット協会、関西クリケット協会との共催で開催しました。28人の留学生も参加し、クリケットを通して、交流を深めました。



12月17日

自然遊学館で日本紙工(株)とコラボした「タツノオトシゴのリースづくり」を開催しました。参加者は楽しみながら、細かくカットされたダンボールを組み合わせ全長約25cmのリースを作りました。



12月20日

市役所3階講座室で視覚障害者のための文化教室「つげさんストラップをつくろう!」を開催しました。指先の感覚と付き添いのかたの声を頼りに、ストラップとキーホルダーの2つを作り、楽しまれていました。



12月26日

貝塚学キャリア教育推進企画「動画クリエイター体験講座～善兵衛ランドの魅力伝える動画を制作しよう～」を開催しました。小学生13人が参加し、善兵衛ランドのPR動画を様々なアイデアを出し合いながら撮影しました。



動画はこちら

1月7日

コスモシアター大ホールで「令和5年度貝塚市はたちの集い」を開催しました。式典では、5人の実行委員が家族や友人に向けて感謝の言葉を述べました。貝塚市では今年、1,003人が20歳になりました。おめでとうございます。



動画はこちら



市民カメラマン撮影

1月10日

市役所6階多目的ホールで「安全安心なまちづくり記念講演会～リオデジャネイロから東京そしてパリへ」が開催されました。鈴木桂治様(柔道男子日本代表監督・アテネ五輪柔道男子金メダリスト)と古根川実様(全日本男子代表コーチ)は「世界の強豪やオリンピックへのプレッシャーに負けないために選手たちは、日々努力を重ねています」と話されていました。



鈴木桂治様



古根川実様



1月9日～11日

脇浜戎大社で十日戎まつりが行われ、商売繁盛を願い多くのかたで賑わいました。10日には、修験者による「柴燈大護摩供(さいとうおおごまく)」が行われ、参拝者は今年一年の健康を祈りながら熱さの残る灰の上を裸足で渡りました。



1月13日

コスモシアター大ホールで「新春!二人会」を開催しました。貝塚市観光大使の神野美伽様、笑福亭たま様の歌と落語の初競演に、会場は多くのかたで賑わいました。

故藤原龍男 前貝塚市長への死亡叙位を伝達しました

令和5年7月27日にご逝去された藤原龍男前貝塚市長に、従五位が授与されましたので、12月19日に酒井市長からご遺族様に叙位の伝達を行いました。故藤原龍男前貝塚市長の功績を称えるとともに、これまで支えてこられたご遺族様に心より敬意を表します。

※叙位とは、国家・公共に対し功績のあるかたが亡くなった際に、生涯の功績を称え、追悼の意を表すものとして授与されるものです。

問合せ先 秘書課
☎072-433-7316

問合せ先 秘書課 ☎072-433-7316

また、今回の能登半島地震では家屋の倒壊により、たくさんの方の尊い命が失われました。本市では、平成24年に空き家に関する条例を制定し、空き家対策に取り組んできたところ、令和3年7月に(ひさし)が落下し、令和4年9月に市が応急措置を施した海塚地区の特定空家が昨年末に所有者等により除却されました。今後も空家対策等特別措置法および本市の空き家に関する条例に基づき、対策を適切に進めてまいります。



また、今般の地震は年始の休暇中に発生し、住民の方々のみならず、帰省客や観光客が多数被災されたこと聞き及んでいます。南海トラフ地震が30年以内に発生する可能性が70～80%とされており、本市としても災害に対する備えを強化する必要があります。能登半島被災地において、本市職員が支援活動を通して得た気づきや経験は大変貴重なものであり、組織内はもちろん、町会、消防団、社会福祉協議会などとも共有を図ってまいります。



市長行動録
能登半島地震災害支援とわがまちの安全安心のまちづくり

1月1日に発生した能登半島地震によってお亡くなりになられた方々に、謹んでご冥福をお祈り申し上げます。また、被災された全ての方々に心からお見舞い申し上げます。

貝塚市は大阪府下の自治体とともに、オール大阪で石川県輪島市の支援にあたり、消防本部からの隊員派遣に続き、避難所運営・支援物資の仕分け、建築物の応急危険度判定、給水支援などに大阪府や被災インフラの関係団体からの要請に基づき、職員を派遣しており、今後も、被災地の早期復旧復興を願い、本市として、できる限りの支援を行ってまいります。

